

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	感染症発生動向等調査費	事業開始年度	昭和37年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 亀井 美登里		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第12～16条	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	感染症の発生状況等を全国規模で調査するとともに、個々の疾病について集団免疫の現況把握及び病原体の検索等の調査・評価解析を実施して感染症の流行を予測し、さらには感染症を媒介させるおそれのある動物等の輸入の状況を把握するなどして、これらの情報を全国規模のオンラインシステムにより迅速に収集・分析・還元することにより、有効かつ的確な感染予防対策の構築を図ること					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に関する情報を全国規模で迅速に収集し、専門家による解析、国民・医療関係者等に対する還元を行い、疾病に対する有効かつ的確な予防対策を図り、多様な感染症の発生・拡大を防止する。</li> <li>・集団免疫の現況把握および病原体の検索等の調査を行い、各種疫学資料と合わせて検討し、予防接種事業の効果的な運用を図る。</li> <li>・動物に由来する人の感染症が海外から侵入することを防ぐ。</li> <li>・新型ウイルス系統調査・保存を実施することにより、新型インフルエンザの大流行等に備え、ワクチンを緊急に製造するための体制整備をする</li> <li>・抗インフルエンザ薬に対する耐性株監視を行い 疾病に対する有効かつ的確な治療対策の構築を図る。</li> </ul>					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国都道府県で、ポリオ、インフルエンザ、日本脳炎、風しん、麻しんについて、感受性調査や感染源調査の検査を23, 830件実施</li> <li>・約1000検体のインフルエンザウイルスに対する薬剤耐性検査</li> <li>・感染症サーベイランスシステムの運用</li> <li>・病原体システムの改修</li> <li>・WISH最適化に伴い、利用回線が廃止になったため、霞ヶ関WANから自治体へ接続経路変更</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	287	383	374	231	432
	執行額	261	375	321		
	執行率	90.9	97.9	85.8		
	総事業費(執行ベース)	261	375	321		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の把握については、国が直接執行管理し、把握している。				
	見直しの余地	<p>感染症に関する情報を全国規模で迅速に収集し、専門家による解析をおこなった上で国民・医療関係者等への還元を図るとともに、必要に応じ感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするための調査を行うことにより、感染症発生動向調査体制の整備・確立を図り、もって国内の感染症発生・拡大を防止し、国民の健康被害を最小限にとどめ、社会・経済機能の破綻を来すことのないようにするために必要な事業である。</p> <p>近年、東南アジア等で高病原性鳥インフルエンザH5N1がヒトに感染し、死亡例も報告されているため、それらの出現をいち早く察知することにより、有効かつ的確な感染予防対策がとれるようにサーベイランス体制強化を図る必要がある。</p>				
予算チームの監視・所見率	<p>一部改善(執行状況を予算要求に反映)</p> <p>感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく必要な事業であるが、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。</p>					
補記	平成23年度概算要求において、実績を踏まえインフルエンザ薬耐性株サーベイランス事業費等の削減(▲12百万円)を行ったが、感染症発生動向調査システムに係る次期システム更改に必要な経費(213百万円)を計上したため、対前年度増となっている。					

厚生労働省  
321百万円

【事業内容】

感染症に関する情報を全国規模で迅速に収集し、  
専門家による解析、国民・医療関係者等に対する還元

【一般競争入札】

B. 民間企業 8百万円

(内訳)上位2者  
東芝ソリューション(株) 5百万円  
ファルマ・ソリューションズ株式会社 3百万円

【事業内容】

・感染症に関する情報を全国規模で迅速に  
収集するためのシステムの改修

【随意契約】

C. 民間企業(32カ所) 167百万円

(内訳)上位10者  
東芝ソリューション(株) 104百万円  
(株)エヌ・ティ・ティ・データ 43百万円  
株式会社ワールド・クウリアー 6百万円  
(株)太陽美術 3百万円  
(株)恵和ビジネス 2百万円  
シーアンドエス株式会社 1百万円  
株式会社 ダイナコム 1百万円  
富士通(株) 1百万円  
(株)ビーピーエス 1百万円  
協新流通デベロッパ(株) 1百万円

【事業内容】

・感染症に関する情報を全国規模で迅速に  
収集するためのシステムの運用

【支出委任】

A. 都道府県(47)  
33.7百万円

(内訳)上位10者  
群馬県 2百万円  
三重県 2百万円  
宮城県 1百万円  
千葉県 1百万円  
栃木県 1百万円  
大阪府 1百万円  
福岡県 1百万円  
静岡県 1百万円  
茨城県 1百万円  
福島県 0.4百万円

【事業内容】

集団免疫の現況把握および病原体の検  
索等の調査

その他事務費112.3百万円

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 群馬県			F		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	検査費	2			
計		2	計		0
B. 東芝ソリューション(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	感染症発生動向調査システム新型インフルエンザ集団発生対応改修	3			
雑役務費	NESID年報集計作業	2			
		5			
C. 東芝ソリューション(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	感染症発生動向調査集計等システム運用・保守業務	96			
雑役務費	感染症発生動向調査集計等システム機能改修	5			
雑役務費	厚生労働省ネットワークシステム移設作業	3			
計		104	計		0
D.			I.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
E.			J.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0